

平成30年度 1学年海外研修旅行報告

(台湾で学ぶ地方創生)

- 1 目的 外国の社会・文化に直接触れ、また現地の人々との交流を通して、民族、国境を越えた相互理解の大切さに気づき、将来広い視野を持った人間として成長できる機会とする。また、団体行動を通じて規律正しい生活態度や相手を思いやる心を育み、相互理解を深めて今後の高校生活の充実を図る。
- 2 旅行日 平成31年2月19日(火)～2月23日(土)
- 3 旅行先 台湾(台北・台中)
- 4 旅程 2月19日(火) 二戸駅出発 (台中泊)
20日(水) 学校交流(台中市立新社高級中学)、台中市内観光(台中泊)
21日(木) コース別研修 (台北泊)
22日(金) 自主研修(B&Sプログラム)(台北泊)
23日(土) 二戸帰着
- 5 参加者 1学年生徒 162名

現地での様子



<1日目> 二戸～羽田～台湾(台中)
二戸駅改札口で出発式を行い、新幹線～JR～京急線を乗り継いで羽田に到着しました。初めて飛行機に乗る生徒がほとんどでしたが、機内では落ち着いていました。台北空港到着後は、各クラス毎バスに乗車し、途中トイレ休憩をはさんで台中市へ向かいました。



<2日目> 学校交流 台中市内観光
新社高校では、盛大な歓迎セレモニーから始まりました。セレモニーでは校歌紹介や浄法寺塗りのお皿をプレゼントしてきました。また、各部活動やクラス毎の交流では手厚いおもてなしを受け、充実した時間を過ごしました。



<3日目> コース別研修 小籠包
モンゴリアンBBQ 士林市場





<4日目>自主研修 (B&S プログラム)

朝食を取った後、現地の学生さんと対面し、班毎に出発していきました。対面直後はお互いに緊張する様子が見られましたが、夜ホテルに到着後は、学生さんとの別れを惜しんでいました。



～生徒の感想 (一部抜粋)～

- ・現地の学生と交流し、学校の日本との違いを感じる事ができた。互いに母国語が通じない人同士が英語で会話することで、下手な英語でも必死に相手に伝えようとする気持ちを持った。また、改めて英語の大切さが分かった。日本とは異なる文化や食に触れる事ができ、貴重な体験ができた。
- ・台湾に行く前は楽しさより不安が大きかったけれど、台湾に着いてみると、高校生と楽しく会話したり、観光を楽しんだりすることができた。B&S では、台湾の大学生の人と一緒に周ったが、日本語がペラペラで驚いた。色々な場所を案内してもらって、また台湾に行きたいと思った。
- ・実りのある研修だった。台湾の高校生のことや新設高校のことを友達ともまだ話している。案外コミュニケーションを取ることができて嬉しかった。総統府や日本統治時代の状況も知ることができた。台湾では大学選択の時に海外を選ぶ人も多いようで驚いた。クラスの友人とさらに仲良くなる事ができた。台湾の人ともSNSを通じて交流をしている。海外の空気を吸うことができてとても良かった。

～保護者の感想 (一部抜粋)～

- ・今まで海外に興味になかったが今回台湾に行き、日本人以外の外国のしかも同学年の子達と交流ができ、台湾のみならず他の国への興味がわいたようだ。
- ・国際交流ができ良い経験観光も楽しかったと話していた。初の海外体験は少しグローバルな人間に近づけたのではないかと思います。
- ・地元の高校生徒の交流が楽しかった！と開ロ一番に話してくれました。行く前は心配そうだったので、親も心配だったのですがB&Sの大学生方が良い方だったようで、楽しかったそうです。少し大人になった感じがしました。



今回の研修旅行では、生徒達は人との交流を何よりも楽しみ、それを通して感じたことや学んだことが多かったようです。この経験が今後の学校生活における人との関わり方や進路達成に向けたモチベーションに繋がっていくことを期待します。